



ラインマイン大学



ドイツ連邦共和国

Hochschule RheinMain University of Applied Sciences
Wiesbaden Rüsselsheim

●学部学生 約12,000人 ●教職員 約740人

ホームページ <http://www.hs-rm.de/de/>

交流協定締結年月日：2002年9月23日 主管学部：経済学部

国際交流の特色

ラインマイン大学があるヴィースバーデン市はドイツの空の玄関フランクフルト国際空港から電車で約40分のところにあり、人口30万弱でヘッセン州の首都である。古来より温泉保養地としても国内外に知られている。また、周辺のラインガウ地方はドイツ最大のワイン産地としても有名である。

ラインマイン大学は1971年辺り一帯の各種専門学校を統合して大学に昇格した比較的新しい大学で、香川大学の個別の学部が交流を行っている経済学部（ヴィースバーデン・ビジネス・スクール）の他に、工学系、社会科学系等の5学部がある。キャンパスはヴィースバーデン市内の本部キャンパスおよび経済学部キャンパスの他、郊外のリュッセルスハイム（自動車メーカー、オペルの本社がある）にもキャンパスがある。日本では他に宮城県仙台市の東北学院大学と交流協定を結んでいる。経済学部では学生の相互派遣（1～2学期間）やドイツ語研修（3月）を行っている。

交流実績（平成26年度～28年度）

年度	H26	H27	H28
受入・派遣			
学生の受入	4	4	4
学生の派遣	1	2	2
大学訪問者数	9	13	0



教員からの声

経済学部の開設科目である海外研修〔ドイツ〕では、2012年度から協定校のラインマイン大学でドイツ語講座を受講しています。平日5日間の午前中が講座の時間で、授業レベルは初歩ですが、すべてドイツ語で進められ、学生は悪戦苦闘しながらも「生の」ドイツ語で授業を受けることで確実にレベルアップしています。午後はキャンパスがあるヴィースバーデン市内や近郊都市を散策し、午前中の授業で習ったドイツ語を実践しています。ヴィースバーデンには1週間程度滞在しますが、小さな街とはいえ必要十分な施設がそろっており、習ったドイツ語を実践する十分な機会があります。またラインマイン大学の学生有志も毎年午後の観光などに同行してくれ、学生たちと友情を育み、国際交流を実践しています。

研修参加者を中心として毎年1～2名程度、長期で派遣留学する学生が出ています。長期の留学は、単に大学で授業を受けるだけではなく、様々な国籍の友人ができたり、多くの国に旅行をしたり、異文化体験をしたりと、短期の研修では決して得られない様々な体験をすることができ、留学した学生は一回りも二回りも大きくなって日本に帰ってきています。

経済学部 経営システム学科 准教授 柴田 明

学生からの声

私が大学3年生の秋から1年間留学したヴィースバーデンは、温泉やカジノが有名な保養地として知られ、閑静な高級住宅街が立ち並び、非常に治安の良い街です。物価は高松市よりも少し高く、外食や旅行にあまり行かなければ、1ヶ月700ユーロ程度で生活できると思います。また、学生証を提示すれば、ヴィースバーデン周辺の公共交通機関は無料になるため、私は、隣町のマインツやフランクフルトで精力的にインターンシップも行っていました。

ラインマイン大学の講義では、例えば、ドイツ語は、前期に初級クラスで講義に慣れた後、後期に上級クラスを受講することで、自分のレベルに合った学習ができました。他にも国際経営学では、商談の場での交渉の仕方やプレゼンテーションの方法等、実践的な内容を英語で学びました。特に、「オーストラリアのレストランをドイツで開業するには？」等の具体的なケースを基に、フランス人やメキシコ人等と一緒にプレゼンテーションした事が印象深く、その中で、外国人と日本人の課題への取り組み方の違いや国民性等も学ぶ事ができました。

以上のように、安全・安価かつ、様々な事が学べる環境が揃うラインマイン大学を、私は強くお勧めします。

経済学部 経営システム学科 武村昂紀